



今年度も大変お世話になりました。

本校では、全校行事「6年生を送る会」が3月3日に終わり、今年度の大きな行事は卒業式を残すのみとなりました。今年度本校は創立150周年を迎えましたが、この150年の間に、学校長は私を含め33名、児童は6年生を含め4837名が在籍していました。たくさん子どもたちが、この鴨方西小学校で勉強したり遊んだり、笑ったり泣いたりしながら、社会に巣立っていったのだと思うと感慨深い思いになります。

今月号では、今年度実施した、150周年記念行事の振り返りと、学校運営協議会で承認いただいた学校評価書について、皆様にご報告します。

【創立150周年記念行事（振り返り）】

保護者の皆様、地域の皆様のご協力のもと、記憶に残る150周年記念行事を実施することができました。



【9月5日：300人の手形で作る壁掛け作り】



【11月6日：全校遠足／分校の旗のお披露目】



【12月20日：めぐって校歌 NHK撮影】



【12月7日：ジャンボツリー点灯式（地域行事）】

どの行事も、保護者、地域の方々の協力のもと進めることができ、本校児童が願った、学校と地域と保護者との「最高の絆」をより一層深めることができました。地域とともに150年もの間、大切に愛され続けた小学校、今後も長く長く、小坂東の地にあり続けることと思います。また、児童デザインの缶バッジやクリアファイルを記念品として、保護者の皆様、学校支援ボランティアの皆様にお配りしました。どうぞ、本校にお越しの際は缶バッジで胸元を飾っていただくと嬉しいです。

【学校評価書（最終報告・概要）】

(1) 学校運営協議会の評価

1年間の本校の「知・徳・体・地域とともにある学校づくり」の4点の取組の進捗状況を報告し、学校運営協議会の場で承認いただきましたので、以下に報告します。

A. 学校運営協議会の評価

- ・「徳」の取組によって、思いやりのある児童が多いと感じる。来年度は、アンケートを児童・保護者・教員だけでなく、地域ボランティアにも広げると実態を把握しやすいかもしれない。
- ・「知」の「けてぶれ」という取組によって、学習において児童が自分でPDCAサイクルを回せるようにしていることはすばらしい。また、この力やペースに合わせて授業をしていることもよい。基礎学力の定着を大事にしながら「児童に委ねる」取組を進めていってほしい。
- ・「地域とともにある学校づくり」の取組では、ブログでタイムリーな発信が多く、保護者に喜ばれたと思う。
- ・学校・保護者・地域の力で落ち着いた学校になっている。また、教師の熱量や愛情が高く、児童に良い影響を与えていると感じる。

B. 学識アドバイザーの評価

- ・「知」の取組の内、校内研究等による授業改善の進展が目を見守る。4の地域とともにある学校づくりの推進と教員の意識変容による授業改善の両輪で成果をあげていると思われる。

(2) 来年度の重点取組・方針

- ・本校の教育方針である、児童の「これからの時代を生きる力」を、引き続き育てていく。
＜これからの時代を生きる力とは＞
 - 自己肯定感が高い
 - 人と関わる力がある
 - 考えて行動できる
 - 自ら考え、発信できる
 - アイデアを形にできる
 - 情報を早く正確に得ることができる
 - 必要な情報を選べる
 - 物事の仕組みを知っている
- ・そのためにも、学校・地域・家庭間での役割分担と連携により、教育の質の向上と働き方改革を進めていきたい。

詳細につきましては、別紙「[学校評価書](#)」を参照ください。

保護者の皆様、地域の皆様、今年度も、種々のご協力、ありがとうございました。
次年度も、教員一同、明日が待ち遠しい学校を目指して、チーム鴨西で進めてまいります。